

ICTを活用した地域包括ケア社会の姿

概要

期待される効果

子供から高齢者まで、安心・安全に暮らせることができ、活気ある街づくりを実現。ブロードバンド環境にてICTをフル活用し、多種多様なサービス事業者が効率的に有機的連携し、付加価値の高い住民サービスを提供していることが特徴。

高齢者の精神衛生向上は、老後の安心を下支えする。健診受診、介護予防等により、要介護度上昇を抑え、元気なお年寄りを増やし、社会保障費抑制に寄与する。予防、在宅へのシフト移行を促し、3世代が安心、安全に暮らす「地域包括ケア社会」を形成、健康な街づくりの実現、地域社会全体への波及効果をもたらす。

高齢者の場合、24時間体制のコールセンターが総合相談窓口として中核を成し、ヒューマンサポートを実現。医療・介護・福祉・その他事業者がチーム支援体制を取り持ち、情報共有の仕組みの中でネットワークが構築される。そんな姿に企業利害が弊害となることはない。ICTを使った効率的で広範なサービス体系は、新たな社会インフラとして浸透する。

明るく元気な高齢者を増やす (コミュニティ支援・生き甲斐づくり)

